

【2024年概況】

2024年の入域観光客数、965万人の見込み

2024年（暦年）の入域観光客数は965万人の見込みです。前年比117.2%、過去最高年であった2019年比95%と好調です。国内客は、過去最高の国内入域客数となる前年比104.2%、2019年比104.5%、海外客は前年比212.7%、2019年比71.6%となる見込みです。

●堅調な国内観光

継続的な旅行マインドに支えられ、旺盛な個人需要、夏休みの旅行需要に対応した航空会社の増便と台風の影響の少なさを、夏休み以外の沖縄の魅力の認知拡大により、10月11月の航空利用率の向上に繋がりました。修学旅行は2019年と比べて8割までに回復しました。各関係者の取り組みにより今年度の秋口のバス不足は解消しました。一方で、運転手不足の課題は引き続き残っています。

年間を通し、幹線を中心とした需要、宮古・石垣路線の需要の影響もあり、国内観光客は堅調に推移しました。

●国際航空路線の回復

沖縄を発着する国際航空路線数が最も多かった2019年7月の便数と比較して、78.1%まで回復するに至りました。特に好調な台北-那覇路線は回復率96.9%となり、週63便（コロナ前は65便/週）が運航しています。一方、中国の主要路線となる上海、北京の回復率が50%程度と半ばであることに加えて、離島への国際路線の回復は仁川⇄下地島のみとなり課題が残ります。

●本土経由欧米豪の旅行者が好調

空路国内線経由外国人入域について調査を行ったところ、2024年度上期推計値は約168,000人となりました。地域別シェアでは北米（米国・カナダ）が最も多く51%、続いてヨーロッパが20%と欧米だけで全体の約7割を占めています。2024年度は2023年度の推計値である25万人を上回る見込みです。

●クルーズの寄港数が大幅増

2024年は12月までの予定を含めて398回*の寄港となる予定で、2018年ピーク時の581回と比較して、約7割まで回復しています。全体の約4割が台湾からの寄港で、中国クルーズはゆるやかな回復基調となっています。また県が推進する「質の高いクルーズ」に位置付けられているフライ&クルーズは、10月までに16本運航され、12月までの予定で7本の計23本となる見込みです。

*10月迄の実績値及び11月、12月の予定数の合計（11月末時点）

●慢性的な人手不足

沖縄県内企業の短期経済観測調査（日本銀行那覇支店）によると、12月時点で非製造業の業況判断DI（良い-悪い）は+37% pと景気の回復がみられるものの、雇用判断DI（過剰-不足）は-61% pと全国と比較しても不足幅が大きくなっています。また沖縄労働局発表の有効求人倍率（10月時点）は、全職業計では1.01倍ですが、接客従事者3.30倍、自動車運転従事者2.42倍など、観光に関する分野で高くなっており、入域観光客数が増加傾向である一方で、空港、宿泊施設、2次交通など、観光業界において様々な業種で人材不足が続いています。

2024年OCVB重大ニュース

【2024年OCVBの主な取り組み】

●OCVB創立70周年記念事業

OCVBの前身である「沖縄観光協会」（任意団体）が1954年に創立され、2024年で創立70周年を迎え、記念式典を含む様々なイベントを通し、OCVBのこれまでの実績を県民含めより多くの方々へ、情報発信を行いました。

- ・創立70周年記念式典（7月1日）
- ・クリーンアップ応援プロジェクト（8月10日）
- ・「OCVB職員オススメ観光地＆観光プラン」の紹介（8月11日～継続中）
- ・各事業所イベント
- 8月8日 ブセナ海中公園 子どもとGO！GO！ブセナ海中公園小人料金無料キャンペーン
- 8月1日～8月25日 旧海軍司令部壕 夏休み自由研究～親子で学ぶ平和学習
- ・賛助会員交流会（12月2日） など

●観光目的税制度の導入施行に関する取組

沖縄県が主催する観光目的税制度の導入施行に関する検討委員会へ参加し、23年11月、24年8月と沖縄観光産業団体協議会から手交した要請書をもとに議論を重ねてまいりました。11月27日には、第3回検討委員会において取りまとめられた提言書が沖縄県文化観光スポーツ部長へ手交され、「定率制」の導入や、事務局をOCVBに委託する「沖縄観光振興戦略検討会議（仮称）の設置」「3年を目途に制度の見直しを図ること」等が示されました。

●能登半島地震の募金呼びかけを実施

沖縄県や沖縄観光産業団体協議会と連携し、1月1日に発生した能登半島地震の被災者に対して、沖縄県への避難受入を行いました。さらに賛助会員を含む観光関連企業に募金の呼びかけも行いました。

1月

●沖縄キリスト教学院大学との包括連携協定締結

OCVBと沖縄キリスト教学院大学は、教育・研究・地域・社会貢献等の分野で協力し、活力ある個性豊かな人材育成並びに沖縄県の観光産業振興に寄与することを目的に、1月10日に包括連携・協力に関する協定を締結しました。

3月

●観光マーケティングレポート「おきなわ観光地域カルテ」の公開

県内の人流データやイベントデータを分析し、地域のマーケティング等への活用を目的とした「おきなわ観光地域カルテ」の正式版を3月27日にWEB上で公開しました。

6月

●Okinawa Global AmbassadorにAwich氏を任命

沖縄観光の魅力をより広く多くの方に発信することを目的に、6月10日に海外にも影響力のある県内出身アーティストのAwich氏を「沖縄グローバルアンバサダー」に任命しました。

7月

●新たな沖縄観光大使4名を選出

新たな観光大使として、社会の変化に合わせ従来の条件を刷新して公募を実施し、専門性を活かした観光PRを行うため、伝統芸能部門・沖縄の食部門・自然部門・スポーツ部門の4名の沖縄観光大使を選出し、7月1日より活動を開始しました。

2024年OCVB重大ニュース

8月

●8月の観光月間において新たな取り組みとして県立図書館での特別展示を実施

8月の観光月間において、県立図書館において観光月間コーナーの特別展示を行い、「沖縄観光」についてイラストや図で楽しく学べるパネルや、各地域の観光パンフレット、関連書籍などを集めたコーナーを設置しました。また、期間中には小学生向けのワークショップを行い、観光に関わる職業について知ってもらうだけでなく、プログラムの中で沖縄の観光コースを作成するなど、夏休みの自由研究にも活用いただきました。

9月

●エシカルトラベルオキナワ、「第8回ジャパン・ツーリズム・アワード UN Tourism特別賞」を受賞

旅行者数などに重きを置いた誘客施策ではなく、「世界から選ばれる持続可能な観光地」を将来像として、質の高い観光を求めた施策を展開している点や、沖縄の自然環境・伝統・産業を尊重し、旅行者と県民の相互満足度向上を目指している事、さらには県内の参加事業者が毎年着実に増えている事から今後の発展も期待できることなどを評価いただき、9月26日にUN Tourism（国連世界観光機関）特別賞を受賞しました。

●「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」を本格活用した初の国際会議の開催

9月2日から9月6日に開催された「SPNHC（国際自然史標本保存学会）-TDWG（生物多様性情報標準化委員会）合同大会」では、沖縄MICEネットワーク・サステナビリティ部会監修のもと、主催者と会議運営事業者、関係者が一体となって、「持続的なMICE開催」を行いました。これは、「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」を本格活用した初の国際会議の開催となりました。

11月

●Adventure Week、沖縄で初開催

11月9日から11月16日に、日本政府観光局（JNTO）・Adventure Travel Trade Association（ATTA）・沖縄県が主催する「Adventure Week 2024 Okinawa」が開催されました。欧米市場の旅行会社やメディアの方々が沖縄におけるアドベンチャートラベルを体験し、「沖縄の精神性、ブルーゾーン、文化、食、環境学習など高品質のコンテンツが多く、顧客に提案できる」、「安定して受け入れるためにより多くのガイド人材の育成が必要」という声をいただきました。

●観光客帰宅支援運用図上訓練 過去最多の参加者

11月12日に大規模地震・津波の発生を想定し、交通輸送機能の早期復旧と観光客の滞在支援について、国・県・市町村・航空会社・公共交通機関・観光業界が連携し、対応方法や課題を確認しました。今年度は、県内外での災害発生による県内観光関係者の観光危機管理への機運の高まりから、過去最多の参加数となりました。

12月

●OCVB創立70周年記念事業 沖縄観光未来ビジョンコンテストの開催

OCVB創立70周年を迎えた今年、未来の沖縄観光を支える学生を対象とし、観光業界への就職を後押しし、プレゼンテーションや人前で発表する力を身につけてもらう機会を創出することを目的に、12月22日に「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」を開催しました。

【最優秀賞】

ピッチ部門 平良 瞳（那覇商業高校）「伝統菓子を未来へ！！沖縄の伝統菓子×現代のスイーツ」
ポスター部門 中山 鈴花（浦添工業高校）「生み 灯し 繋ぐ」

【イベントおよび観光関連表彰など】

●沖縄国際文化祭、2025年4月に開催決定

2009年より毎年開催していた「沖縄国際映画祭」が2024年の16回目をもって幕を閉じました。県内外から多くの観光客や関係者が訪れるなど春の沖縄を代表する一大イベントとなっていた本イベントに代わり、次年度は4月5日から4月6日に「観光誘客」「地域振興」「県民の人材育成」をテーマとした「沖縄国際文化祭」の開催が決定しました。

●令和6年度観光関連功労者表彰

令和6年度観光関連の功労者表彰に、4氏が受賞いたしました。

- ・日本観光振興協会観光振興事業功労者表彰 照屋 修興 氏
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 元副理事長
- ・沖縄県観光功労者表彰：大崎 洋 氏
一般社団法人 mother ha.ha 代表理事
- ・沖縄県観光功労者表彰：平良 勝之 氏
(株)メイマックス（ホテルニュー丸勝）会長
- ・沖縄県功労者表彰(観光振興部門)：佐久本 武 氏
元沖縄県酒造組合連合会会長

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4~10月実績、11月~25年1月見通し)

		上期計	10月(実績)	11月(確定)	12月(予測)	10-12月	1月(予測)	2月(予測)	3月(予測)	1-3月計	24年度計		
2024年度	国内	空路	3,808,700	688,600	632,400	629,000	1,950,000	551,000	583,000		1,134,000	6,892,700	
		海路	19,400	5,800	4,400	3,600	13,800	2,900	2,300		5,200	38,400	
		合計	3,828,100	694,400	636,800	632,600	1,963,800	553,900	585,300	0	1,139,200	6,931,100	
	海外	空路	726,900	124,000	117,900	131,000	372,900	136,000	125,000		261,000	1,360,800	
		海路	398,700	68,300	56,100	50,100	174,500	81,500	62,300		143,800	717,000	
		合計	1,125,600	192,300	174,000	181,100	547,400	217,500	187,300	0	404,800	2,077,800	
	国内・海外合計		4,953,700	886,700	810,800	813,700	2,511,200	771,400	772,600	0	1,544,000	9,008,900	
	前年度比	国内	空路	105.0%	103.1%	106.2%	111.0%	106.6%	109.2%	101.8%	0.0%	31.6%	95.6%
			海路	52.6%	109.4%	258.8%	72.0%	115.0%	72.5%	143.8%	0.0%	25.4%	66.9%
			合計	104.5%	103.2%	106.6%	110.7%	106.6%	108.9%	101.9%	0.0%	31.6%	95.4%
海外		空路	171.8%	157.2%	152.1%	147.2%	152.0%	146.4%	132.4%	0.0%	49.3%	142.9%	
		海路	364.4%	187.1%	412.5%	808.1%	309.9%	296.4%	123.6%	0.0%	71.3%	230.5%	
		合計	211.4%	166.6%	191.0%	190.2%	181.4%	180.6%	129.4%	0.0%	55.4%	164.4%	
国内・海外合計		118.1%	112.5%	117.8%	122.0%	117.2%	122.6%	107.4%	0.0%	35.6%	105.6%		
19年度比		国内	空路	103.0%	111.9%	106.1%	111.1%	109.7%	103.6%	110.6%	0.0%	35.1%	99.5%
			海路	64.7%	103.6%	110.0%	53.7%	84.7%	131.8%	79.3%	0.0%	22.6%	72.5%
			合計	102.7%	111.9%	106.1%	110.5%	109.5%	103.7%	110.5%	0.0%	35.0%	99.3%
	海外	空路	78.6%	100.7%	120.4%	124.8%	114.4%	111.6%	241.8%	0.0%	52.0%	95.3%	
		海路	57.3%	63.6%	55.4%	64.7%	61.0%	113.8%	669.9%	0.0%	39.2%	67.4%	
		合計	69.4%	83.4%	87.4%	99.3%	89.4%	112.4%	307.0%	0.0%	46.6%	83.4%	
	国内・海外合計		92.6%	104.2%	101.5%	107.8%	104.4%	106.0%	130.7%	0.0%	37.5%	95.1%	

■概況

国内：

- ・空路は前年と比べ、需要が堅調に推移している。県内各地でのスポーツイベントや春季キャンプ等もあり、今後も好調に推移すると予想される。
- ・年末年始を含む堅調な旅行マインドに支えられ、東京・大阪などの幹線を中心に需要が堅調に推移している。
- ・石垣宮古の県外直行便も好調に推移している。

海外：

- ・空路は台北、韓国仁川、香港路線の需要が引き続き堅調に推移しており、12月以降も新規就航が予定されている。また、1月28日からは春節の連休もあり、多くの観光客が訪れることが予想される。
- ・海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移しているものの、天候等の影響によるキャンセルの可能性がある。

■2024年暦年 入域観光客数

		2024年 予測	23年比	19年比
国内	空路	7,514,400	104.4%	104.8%
	海路	41,700	77.1%	67.8%
	合計	7,556,100	104.2%	104.5%
海外	空路	1,379,900	170.8%	82.0%
	海路	718,500	401.8%	57.6%
	合計	2,098,400	212.7%	71.6%
国内・海外 合計		9,654,500	117.2%	95.0%

11月28日公表時から、▲8.3万人となった。クルーズ船のトラブルや11月公表時には運航予定だったクルーズ船（主に中国発）が11件キャンセルとなったことが要因。

前年比は117.2%と大幅増である一方で、過去最高年の2019年比95.0%である。

過年度実績については、沖縄県の[入域観光客概況](#)をご確認ください。

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（24年11月～25年1月見通し）

12月

国内

(空路) 62.9万人（23年12月対比 111.0%）と見込む。
 (海路) 3,600人（23年12月対比 72.0%）の見通し。
 国内クルーズは7回寄港予定。（東京・那覇）うち1回は石垣港のみ寄港。

海外

(空路) 13.1万人（23年12月対比 147.2%）となる見通し。
 台中 = 那覇路線
 ◆スターラックス航空：12月2日（月）新規就航（月・火・木・土）
 釜山 = 那覇路線
 ◆イースター航空：12月19日（木）新規就航（デイリー）
 クアラルンプール = 那覇路線 ※台北経由
 ◆パティックエアマレーシア：12月2日（月）～1月13日（月）週4便から週2便へ減便（水・日）
 (海路) 5万人（23年12月対比808.1%）となる見通し。
 中国（上海・蛇口・廈門）や香港などから、7回寄港予定。
 うち2回は石垣港のみ寄港。

1月

国内

(空路) 55.1万人（24年1月対比109.2%）と見込む。
 (海路) 入域客数は2,900人（24年1月対比 72.5%）となる見通し。
 国内クルーズは6回寄港予定。（横浜・那覇）うち1回は石垣港のみ寄港。

海外

(空路) 13.6万人（24年1月対比146.4%）となる見通し。
 タイ（ドンムアン） = 那覇路線 ※高雄経由
 ◆タイ・ライオンエア：1月21日（火）新規就航（火・木・土・日）
 (海路) 8.1万人（24年1月対比296.4%）となる見通し。
 香港や中国（上海・深圳）、韓国（仁川・釜山）などから15回寄港予定。
 うち1回は石垣港のみ寄港。

2月

国内

(空路) 58.3万人（24年2月対比101.8%）と見込む。
 (海路) 2,300人（24年2月対比143.8%）となる見通し。
 国内クルーズは1回寄港予定。（横浜）

海外

(空路) 12.5万人（24年2月対比 132.4%）となる見通し。
 (海路) 6.2万人（24年2月対比123.6%）となる見通し。
 台湾（基隆）、中国（上海）、香港などから18回寄港予定。
 うち3回は石垣港のみ寄港。

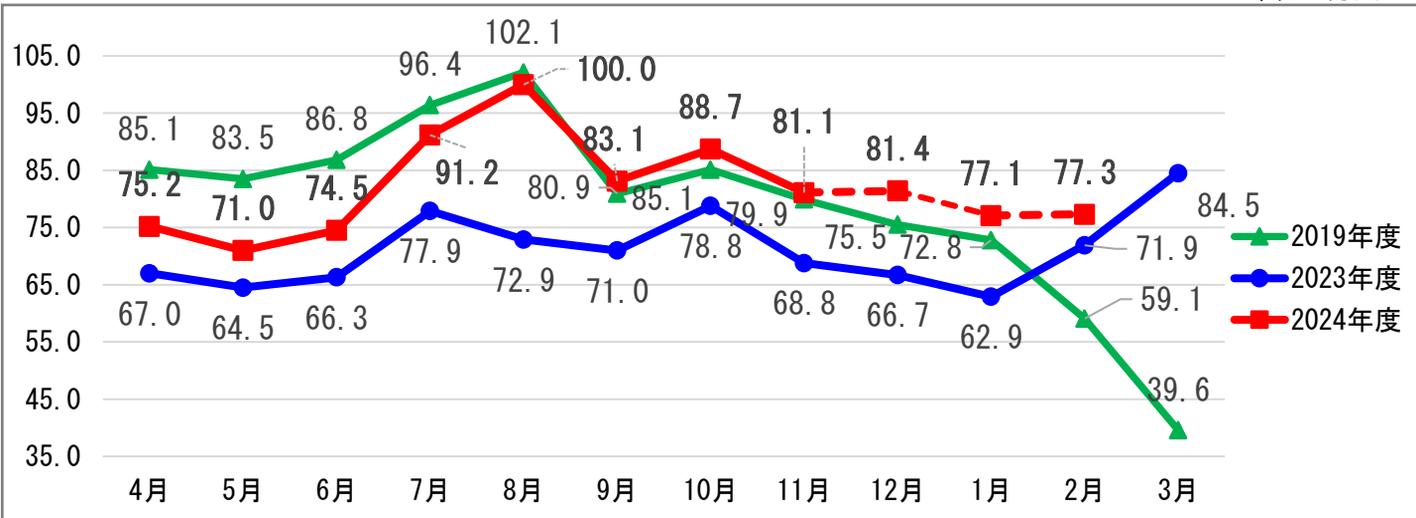
（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの
 海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定
 （海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの
 海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの
 ※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4~10月実績、11月~25年1月見通し) グラフ

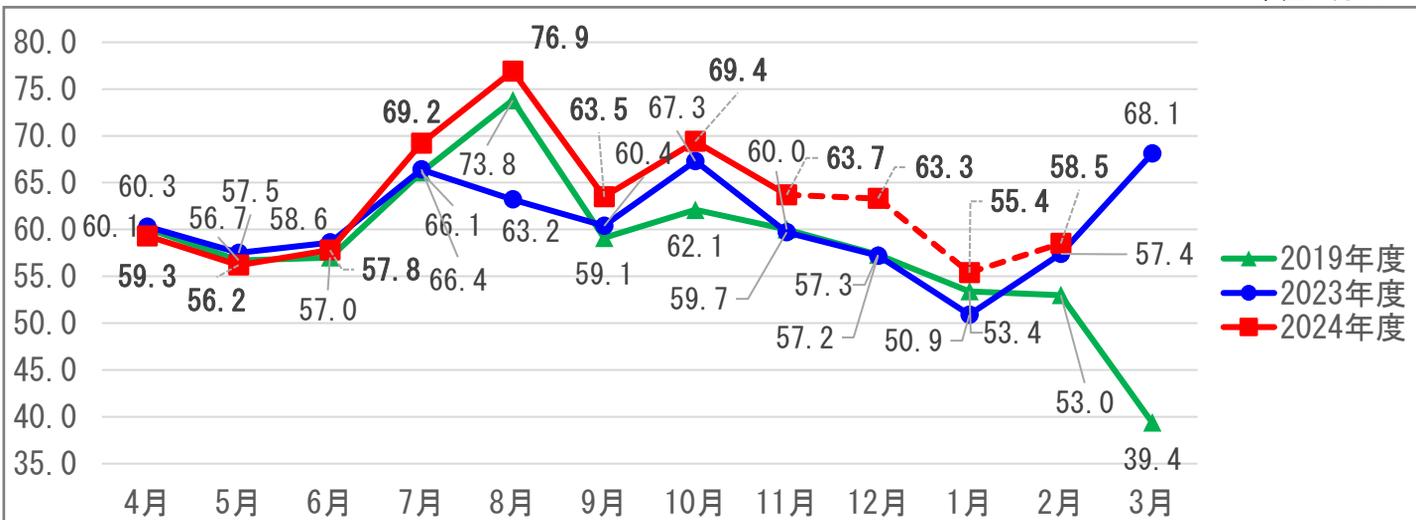
入域観光客 (国内・海外合計)

単位：万人



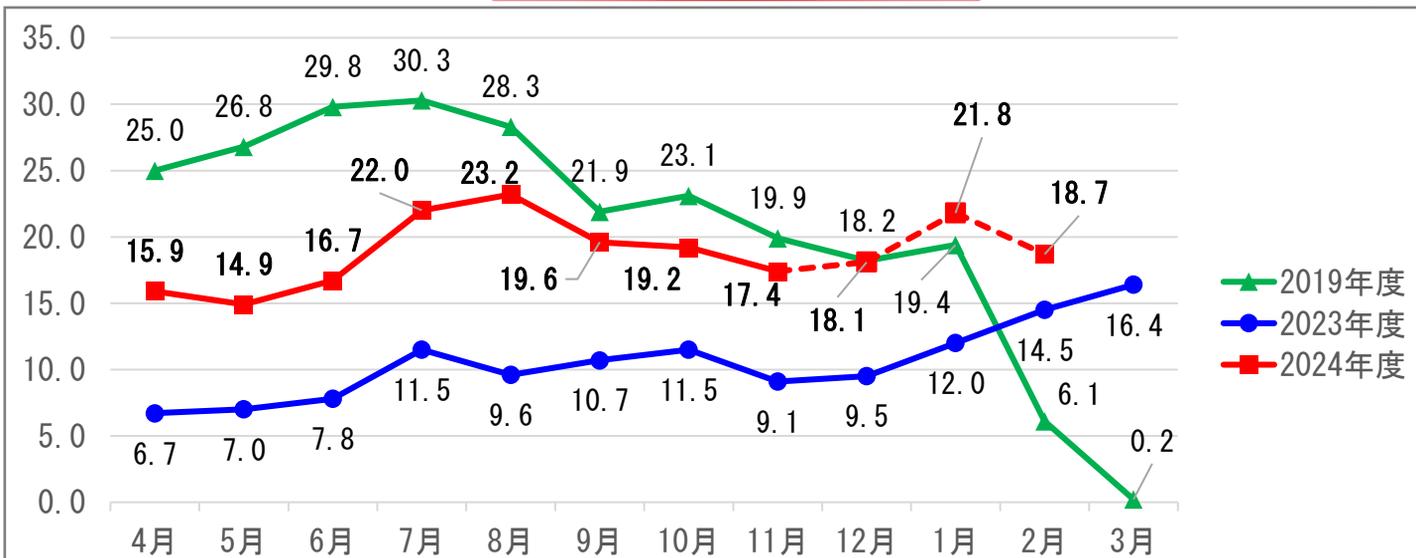
入域観光客 (国内)

単位：万人



入域観光客 (海外)

単位：万人



OCVB創立70周年記念事業「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」最終結果報告

未来の沖縄観光を支える学生に対し、実際に観光業界への就職を後押しし、プレゼンテーションや人前で発表する力を身につけてもらう機会を創出することを目的に、「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」を開催しました。「Love ,Okinawa 愛する島をもっと愛される島へ」をテーマに、若い世代が心からいいと思う残したい沖縄をピッチ部門及びポスター部門にて表現・発表いただきました。

名称：OCVB創立70周年記念 沖縄観光未来ビジョンコンテスト 最終審査発表会

日時：令和6年12月22日(日) 14時～16時30分

場所：O2 OKINAWA OFFICE

主催：(一財)沖縄観光コンベンションビューロー

応募者数：エントリー数 ピッチ部門33人 ポスター部門96人 計129人

作品提出数 ピッチ部門20人 ポスター部門69人 計89人

1次審査通過者 ピッチ部門5人 ポスター部門5人 計10人

最優秀賞特典（今後の予定）：

- ・ピッチ部門：沖縄テレビ放送「HYゴーゴーヤ」にてHYメンバーと対談
- ・ポスター部門：作品を観光ポスターとして、県内外の観光施設・イベント等で活用

審査員（敬称略）：

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| ・OCVB 国内事業部 国内プロモーション課 課長 | 照屋 美奈子（審査委員長） |
| ・沖縄JTB株式会社 総務企画部 総務企画グループリーダー | 島袋 真衣 |
| ・沖縄ツーリスト株式会社 広報企画部 部長 | 山本 達涼 |
| ・株式会社日本旅行 沖縄企画・仕入センター所長 | 三浦 次朗 |
| ・株式会社近畿日本ツーリスト沖縄 仕入販売部 団体仕入課長 | 島 憲仁 |

特別審査員：

- | | |
|-------------------------|----------|
| ・一般社団法人 沖縄未来人材育成ラボ 事務局長 | 宮城 敦 |
| ・編集者（沖縄CLIP編集局長） | セソコ マサユキ |

【お問い合わせ先】

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課
担当:具志堅、比嘉、照喜名
TEL:098-859-6129
Mail:m.gushiken@ocvb.or.jp



OCVB創立70周年記念事業「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」最終結果報告

【結果】

ピッチ部門 (短時間のプレゼンテーション)

・最優秀賞 平良 瞳 (那覇商業高校)

「伝統菓子を未来へ！！沖縄の伝統菓子×現代のスイーツ」

2023年 費目別一人当たりの旅行消費額

宿泊費	¥17,736	34.9%
交通費	¥12,873	25.8%
飲食費	¥15,543	31.0%
娯楽費	¥7,560	15.3%

観光庁が発表した「訪日外国人消費動向調査 2023年年度報告書」<訪日前に期待していたこと>

- 1位：日本食を食べること (83.2%)
- 2位：ショッピング (60.9%)
- 3位：繁華街の街歩き (51.7%)

人気の食べ物

伝統菓子を未来へ
沖縄の伝統菓子 × 現代のスイーツ

行事にも変化が

組み合わせたスイーツを買えるお店

例えば・・・

- ・地元の果物を使用したロールケーキ風のチンピン
- ・アイス等を使用したクッキーサンド風の花ぼうる

・伝統菓子の伝承 (新たな観光の商品に)

・観光収入の向上

・沖縄21世紀ビジョン (将来像1 沖縄の伝統や文化を大切に)

・優秀賞 伊波 妃菜 (琉球大学)

「県内各地域に多彩な地域性がある島、沖縄」

「県内各地域に多彩な地域性がある島、沖縄」

沖縄だからこそできる観光

Be Yaese Be Uruma Be Nakijin

沖縄の真髄→感動・癒し、交流を楽しむ、知見を高める、自己変革・成長を楽しむ

自然 × 伝統 × 文化 × 食 × 人 × 暮らし

- ①地域分散化▶オーバーツーリズム解消
- ②地域に貢献する高付加価値型旅行▶持続可能な観光
- ③他の地域版も体験したい！▶リピーター・ファン創出
- ④地域の魅力再発見▶地域住民 地元を大切にする

沖縄県民にもっと愛される島へ→県民ひとりひとりが観光大使
沖縄に価値を感じ、沖縄を大切にしてくれる観光客

・奨励賞 西銘 芙蓉 (琉球大学)

「わったー島は家族の島」

わったー島は家族の島 (家族のように手を取り合う共生の島)

「あいつ、お母さんは元気ねー？」
まるで家族のように
挨拶が飛び交う地域だった
今はもう、他人同士なのだろうか
守ってきたい
わったー島は家族の島

「沖縄に移住しました」
グローバル社会と言われ
益々移住者が増加する
歴史が染いたチャンプルー文化
新たな歴史を刻むとき
ゆいまーる
わったー島は家族の島

時計の針はゆっくり進み
いつも変わらずあたたかい
自然も人も
どこを撮っても沖縄の色
今年もまた聞けるかな
「めんそーれー」
わったー島は家族の島

地域交流

近所住民と親しくない
→中部・南部80%越え

沖縄移住

転入者が転出者を
上回った→黒色

毎年
約2万5千人

観光

5年以内に再来したい
1回以上→90%以上

地域交流の活性化

解決策1 地域内交流
：行事や伝統文化の体験ツアー

グローバル社会の活性化

解決策2 沖縄県全体の交流
：沖縄ミニ万博の開催

魅力の発掘

皆に愛される島・沖縄

OCVB創立70周年記念事業「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」最終結果報告

【結果】（写真＋キャッチフレーズ）

ポスター部門

・最優秀賞 中山 鈴花（浦添工業高校）
「生み 灯し 繋ぐ」



・優秀賞 知花 結（浦添工業高校）
「ここから始まるゆいまーる」



・奨励賞 山里 涼香（名桜大学）
「冬何もない？おばあがいるさあ」

